

БАС КОНЦЕРТ ТОМОЯ ВАТАНАБЭ

第 11 回 渡部智也 バス・リサイタル

～ロシアロマンス 抒情と風刺～

ピアノ 吉永哲道

ダルゴムイシスキー作曲 Даргомыжский
私の愛しい人よ Влюблен я, дева-красота,
私は悲しい Мне грустно,
九等官 титулярный советник.
おじさん、告白します Каюсь, дядя,

リムスキー=コルサコフ作曲 Римский-Корсаков
グルジアの丘に На холмах Грузии
風ではない Не ветер, вея с высоты,
アンチャーール Анчар

グラスノフ作曲 Глазунов
ニーナのロマンス Романс Нины
バッカスの歌 Вакхическа песня
東方のロマンス Восточный романс

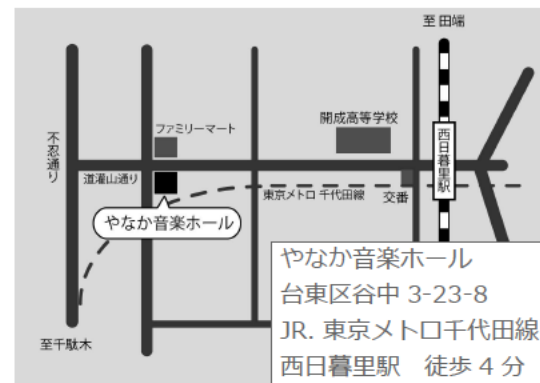
ショスタコーヴィチ作曲 Шостакович
レビヤートキン大尉の4つの詩
Четыре стихотворения
капитана Лебядкина

Санкт-Петербург
Исаакиевский собор
"Pexels" Evgeniy Zolotarev
free image

2026年1月17日(土)

14時開演(13時30分開場)

やなか音楽ホール 全席自由 2,000円



主催：音楽企画「マイスキューヴェーチエル」

後援：日本・ロシア音楽家協会 公益財団法人東京二期会 二期会ロシア歌曲研究会 二期会ロシア東欧オペラ研究会
認定 NPO おんがくの共同作業場

チケット取扱い：認定 NPO 法人おんがくの共同作業場 <http://www.gmaweb.net/npo/> Tel:042-522-3943
音楽企画「マイスキューヴェーチエル」 e-mail : mv-pro@live.jp

ロシアロマンス（ロシア芸術歌曲）には抒情性を持った曲はもちろん、風刺の精神にあふれた曲がたくさん作曲されています。これは生活の苦しみや、社会の辛い現状を歌い継いできたロシア民謡の精神の継承ではないかと私は思います。今回は、のちのロシアの作曲家達に大きな影響を与えたダルゴムジスキーから、ペテルブルグ音楽院に関わりがあったリムスキー＝コルサコフ、グラズノフ、ショスタコーヴィチへと繋がります。抒情と風刺の両面の世界をお楽しみください。



渡部智也 Tomoya Watanabe 会津若松市出身。国立音楽大学声楽科卒業、メディアアーツ尚美ディプロマコース修了、武蔵野音楽大学大学院修了。在学中より岸本力氏よりロシア音楽を学ぶ。ロシア国立チャイコフスキー記念モスクワ音楽院研究科にてロシア音楽を研修する。声楽を岩淵嘉瑩、岸本力、A・ヴァラシーラ、Y・ニキーチナの各氏に、指揮法を永井宏氏に師事。2005年第3回チェコ音楽コンクール第2位、2016年第2回ロシア声楽コンクール第1位。2012年ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン“La folie Russe！（ロシアの熱狂）”のチャイコフスキー展会場でのコンサートをはじめ、ロシア歌曲・ロシアオペラアリアによるリサイタル（2015年～毎年）、2025年2月第10回記念リサイタル～ムソルグスキーの歌曲～（東京文化会館小ホール）を開催。2016年ショスタコーヴィチ『反形式主義的ラヨーク』（オーケストラ編曲版日本初演）の他、ハイドン『天地創造』『ハルモニミサ』、ヘンデル『メサイヤ』、モーツァルト『レクイエム』、ベートヴェン『ミサソレムニス』、フォーレ『レクイエム』、ブラームス『ドイツレクイエム』、ドヴォルジャーク『スタバトマーテル』、マーラー『交響曲第8番』、ショスタコーヴィチ『森の歌』、須賀力哉『レクイエム』のバスソロに出演。オペラでは2000年武蔵野音楽大学オペラ公演『魔笛』のザラストロ役の他、『奥様女中』『秘密の結婚』『フィガロの結婚』『コジ・ファン・トゥッテ』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』『こうもり』『モーツァルトとサリエリ』などのバス役を演じた。2018年9月モスクワのプロコフィエフ博物館にて「日本人とロシア人演奏家による交流音楽会」（ロシア・日本大使館「ロシアにおける日本年2018」認定事業）に出演。2020年2月にモスクワのスクリャービン記念博物館にてリサイタルを開催、同年モスクワのグネーシン音楽大学小ホール及びモスクワ郊外の星の街にてロシア民族楽器奏者とのジョイントリサイタルに参加した。2022年11月、2023年7月に東京にて「平和祈念～映像と音楽でつなぐコンサート」と題し、ロシアの音楽家との映像でのコラボレーションによるコンサートを企画、開催。また2023年から、社会活動としてコンサートの収益を子ども食堂へ寄付するコンサートに出演する。自らの合唱経験を生かし、合唱指導者として「八ヶ岳音楽祭 in Yamanashi」合唱指揮、「コール・ヴェルテ」ヴォイストレーナー、「藤の台コーラスこでまり」「Chor Kranz（コールクランツ）」「ユーラシア・コーラス」の合唱指導者を務める。日本・ロシア音楽家協会、二期会、二期会ロシア歌曲研究会、二期会ロシア東欧オペラ研究会、会津演奏家連盟各会員。認定 NPO 法人「おんがくの共同作業場」代表理事。桐朋学園大学音楽学部、会津大学短期大学部社会福祉学科各非常勤講師。男声カルテット「エレガントノーツ」メンバー。音楽企画「マイルスキーヴェーチェル」代表。

< 渡部智也演奏会出演情報 <http://tomoyabass.exblog.jp/> >



吉永哲道 Tetsumichi Yoshinaga 1978年愛知県生まれ。ヤマハ音楽教室にてピアノを始め、ヤマハマスタークラス及び名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、1998年9月よりモスクワ国立音楽院へ留学。同音楽院本科及び大学院課程を通じ10年間、研鑽を積む。在学中、2005年本科を卒業時には成績優秀者として抜擢され、モスクワ音楽院大ホールにて行われた卒業演奏会に出演した。2008年、第14回アンドラ国際ピアノコンクールにて第5位及び特別賞（スペイン人作曲家作品最優秀演奏賞）を受賞。また2016年には、第2回ロシア声楽コンクールにて最優秀伴奏者賞を受賞した。これまでに田中須美子、内藤江美、江口文子、國谷尊之、浦壁信二、ピャトラス・ゲヌーシャス、マクシム・フィリップポフ、ダリヤ・ペトローヴァ、故ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、大野眞嗣各氏に師事。現在は演奏活動とともに、ヤマハマスタークラス講師、洗足学園音楽大学講師として後進の指導にもあたっている。桐朋学園大学大学院嘱託演奏員。愛知ロシア音楽研究会会員。2018年「G線上のアリア～J.S. バッハと珠玉の小品たち」に続き、2022年2月、2枚目のCDとなる「ピアノは歌う～音楽の宝石箱～ The Recital of Tetsumichi YOSHINAGA」を発売。

< 公式 HP <http://www.tetsumichi.jp/> >

